

平成26年度 地球温暖化防止に向けた市の取り組み結果

平成26年度に市の事務・事業活動によって排出された温室効果ガスの総排出量は、10,576トンでした。平成22年度（基準年度）比で、約10.4%削減することができました。

平成26年度取り組み結果

項目	主な取り組み内容	取り組み項目	結果 (平成22年度比)	平成28年度 目標値※1
電気使用量 ★	昼休み時の消灯、ノー残業デーの実施、トイレ・給湯室・会議室等のこまめな消灯、冷暖房温度の適正管理、太陽光発電システムの活用 等	—	11.7%削減	6.1%削減
施設の燃料 使用量 ★	ボイラー等の適正な運転、冷暖房温度の適正管理、沸かし過ぎや確実な栓締め等ガス器具等の適正使用、省エネルギー機器の導入 等	都市ガス	10.3%削減	1.0%増以内
		LPガス	22.3%削減	±0
		灯油	4.8%増	1.4%削減
		A重油	41.0%削減	30.3%削減
公用車の燃料 使用量 ★	水曜日ノーカーデーの実施、出張時の公共交通機関の利用、公用自転車の利用、アイドリングストップの実施 等	ガソリン	5.4%削減	11.0%増以内
		軽油	7.2%削減	±0
水道使用量	節水コマの取り付け、こまめな蛇口の開閉、トイレの1回流し 等	—	10.1%削減	0.1%削減
ごみの減量	分別回収ボックスの活用、使い捨て容器の購入や使用を控える、物品の共有化 等	本庁舎	92.7%削減	62.5%削減
		全庁	○	分別の徹底
コピー用紙 購入枚数	ミスコピー用紙の裏面使用、両面印刷・両面コピーの実践、会議資料の簡略化、必要最小部数の作成、市役所LANによるメール・掲示板の活用 等	—	6.0%削減	5.4%削減
グリーン購入 の推進	購入前にグリーン製品であることを確認、環境汚染物質を発生する可能性のある製品の購入を控える、グリーン購入情報提供システムの活用 等	—	購入率87.3%	購入率95%以上
公共事業に係る 環境配慮 (A評価の割合)	公共事業環境配慮項目の実施、低騒音・低振動型の建設機械の使用、再生資源の活用、工事現場からの汚染防止、建設廃棄物等の適正処理 等	—	A評価割合 100%	A評価割合 95%以上

★印は、温室効果ガス排出量算定の基礎となる項目です。

※1 平成28年度目標値は、「久喜市環境保全率先実行計画」（平成24年3月策定）で定めた目標値です。